



# 2024年12月期 第2四半期 決算説明資料

---

株式会社AVILEN（証券コード：5591）

2024年8月14日

1. 2024年12月期 第2四半期 決算サマリー
2. 事業概要
3. 2024年12月期 第2四半期 業績
4. 中長期的な戦略とビジネスアップデート
5. APPENDIX

# 2024年12月期 第2四半期 決算サマリー

売上高は2022年度以降で最大の成長率

営業利益は1Q時点における昨年度対比のギャップを大幅に縮小

売上高  
(2Q)

555百万円

前年比

+41.8%

↑ +10.1%

1Q時点前年比

+31.7%

売上総利益  
(2Q)

373百万円

前年比

+35.5%

↑ +10.4%

1Q時点前年比

+25.1%

営業利益  
(2Q)

64百万円

前年比

△1.1%

↑ +31.0%

1Q時点前年比

△32.1%

LTV：500万円以上の社数  
(2Q)

98社

前年比

+60.6%

↑ +8社

1Q時点社数

+90社

# エグゼクティブサマリー

## 2024年度全社方針

### Top Tierにフォーカス（アカウント戦略）

- AIXの本気度×事業規模×AVILENとの関係性で大口化する顧客を絞り込み
- 大口顧客に密着し、より深く幅広く顧客課題を掘り起こし、AIXを推進

### Tech×Bizで差別化

- AI開発力・組織開発力と事業理解の深さで、真に意味のあるソリューションを提供（AVILEN独自のビジネスモデルである事業シナジの最大化）
- 実施したPJの中で、潜在的なニーズが大きいソリューションを横展開

## 2024年2Qまでの進捗

- CROの太田を中心としたアカウントリードチームを組成しLTVも順調に拡大（昨年対比60.6%成長）... P.27参照
- 大塚商会との連携も更に深化（大塚商会のAI推進のために全社的なアイデアソンを実施、自治体への販路拡大、ChatMeeの拡販）... P.40~41参照

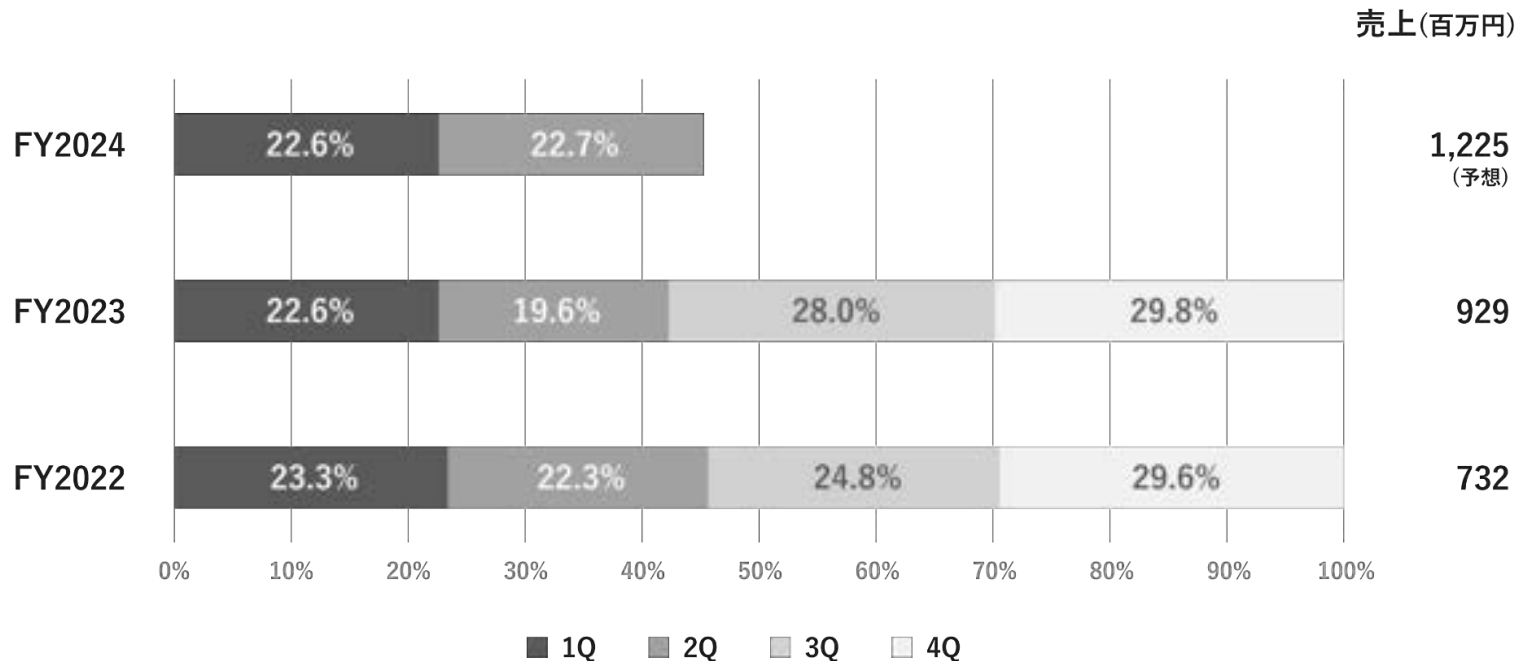
- CEOの松倉を中心としてAIソフトウェア及びビルドアップ共にコンサル案件の獲得が進捗し、案件も大型化... P.28参照
- ビルドアップについては、E資格売上の縮小をコンサル案件でカバーできつつある状況であり、更にクロスセルに向けた生成AIコンテンツを新規リリース... P.34参照
- 生成AIを活用したコールセンターオペレーター向け対応品質評価システムの横展開を開始... P.37参照

## 業績

- 売上：555百万円、2022年以降で最大の+41.8%成長。特にAIソフトウェアは昨年対比+93.3%となり、ほぼ倍の成長。計画対比の進捗は前年度以上。パイプラインも潤沢に積み上がっており、2024年7月末時点での受注残を含めた売上高は960百万円。... P.6,22参照
- 営業利益：64百万円（前年比-1.1%）。他方で、1Q時点では前年比-32.1%であり、2Qで大幅にギャップ縮小。計画対比の進捗は前年と同程度... P.7,24参照

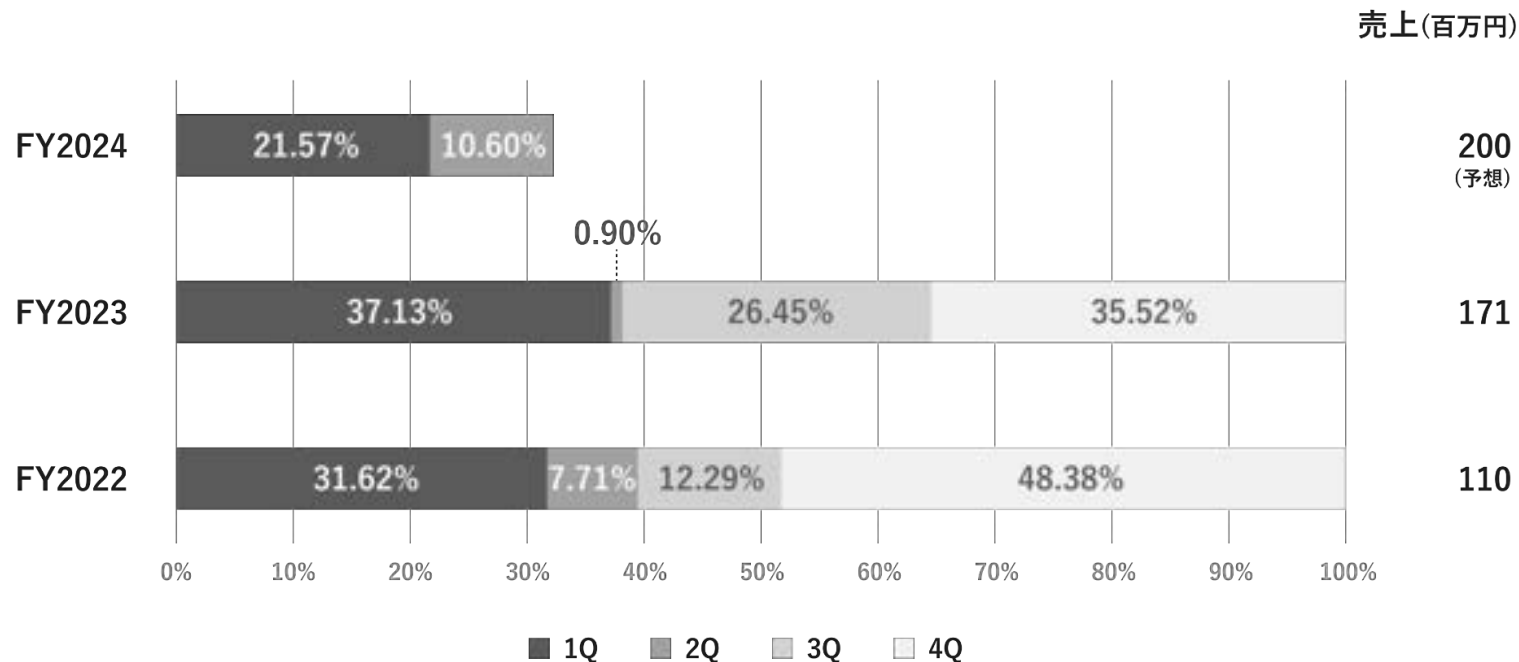
## 当2Qまでの売上高進捗率は昨年対比高水準

【通期売上予想に対する進捗状況】



## 当2Qまでの営業利益進捗率は2Qで1Q時点でのギャップを大幅に縮小

【通期営業利益予想に対する進捗状況】



# 事業概要



## Purpose

データとアルゴリズムで、人類を豊かにする



代表取締役

## 高橋 光太郎

東京大学大学院 修了

株式会社AVILEN創業メンバー。機械学習による即時的な津波高予測の研究に従事。AI・DXによる実問題の解決を得意とする。2021年から代表取締役。MUFG等主要な企業アカウントを開拓し、業務提携等長期的な関係構築を実現。著書の「最短突破 データブライニングG検定問題集」は1万部突破。金融データ活用推進協会の標準化委員も務める。



執行役員 CEO

## 松倉 怜

東京大学、ペンシルベニア大学ビジネススクール (Wharton)

Statistics・Finance専攻 修了

経済産業省、外資系戦略コンサルティングファーム等を経て独立。大手企業の新規事業創出やスタートアップの戦略策定、自治体のDX等を支援。自民党デジタル社会推進本部web3PTワーキンググループメンバー、京都市DXアドバイザー、弁護士。



技術執行役員

## 吉川 武文

東京大学 卒業

日本生物学オリンピック金賞・本選一位、合成生物学の世界大会iGEM金賞等の受賞歴を持つ。画像認識・時系列データ解析・言語処理等幅広い開発案件に携わるとともに、その豊富な実務経験を活かしE資格講座等の講座監修・講師を担当。



執行役員 CTO

## 蕭 勝夫

台湾国立聯合大学卒業、オーストラリアCurtin University修了

2008年来日し、SaaS・ECサイト・ゲーム・SI等の様々な業態でエンジニアとして開発に従事。その後、約8年間ほどCTOやゼネラルマネージャーとして、IT戦略策定・開発組織構築・QA統括などを牽引。



取締役

## 大川 遥平

筑波大学大学院 修了

株式会社AVILEN創業メンバー。AIを用いたシステム開発プロジェクトの企画・遂行を得意とする。データサイエンティスト協会スキル定義委員も務め、共著に「最短突破 データサイエンティスト検定 (リテラシーレベル) 公式リファレンスブック」がある。



執行役員 CRO

## 太田 拓

東京大学大学院 修了

BCG、unilabo執行役員を経て入社。BCGでは製造業・通信・金融・小売・製薬等の業界でトランスフォーメーション、ターンアラウンド等のテーマで戦略策定から実行支援に従事。unilaboでは基幹事業の責任者として5部署を統括し、事業グロースをリード。



取締役 CSO

## 錦 拓男

早稲田大学大学院 修了

10年近い投資銀行のキャリアを有し、M&Aや財務戦略全般に精通。直近では上場企業の経営企画部の責任者として、資本業務提携やIR等の業務を経験する。財務、経理、総務、人事の責任者、大手企業とのアライアンス業務も担当し、上場企業7社との資本業務提携等を執行。



社外取締役

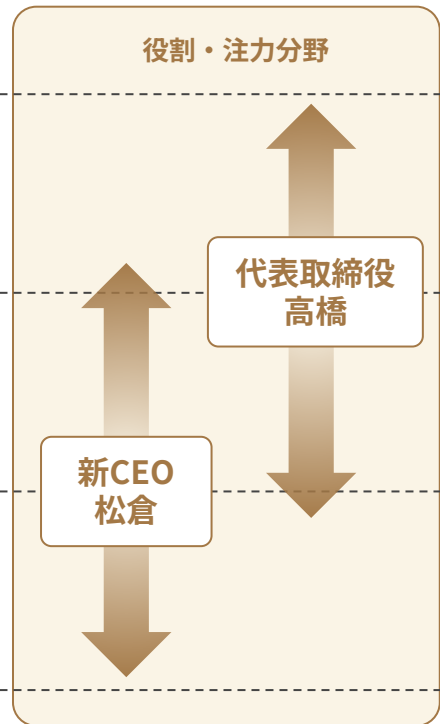
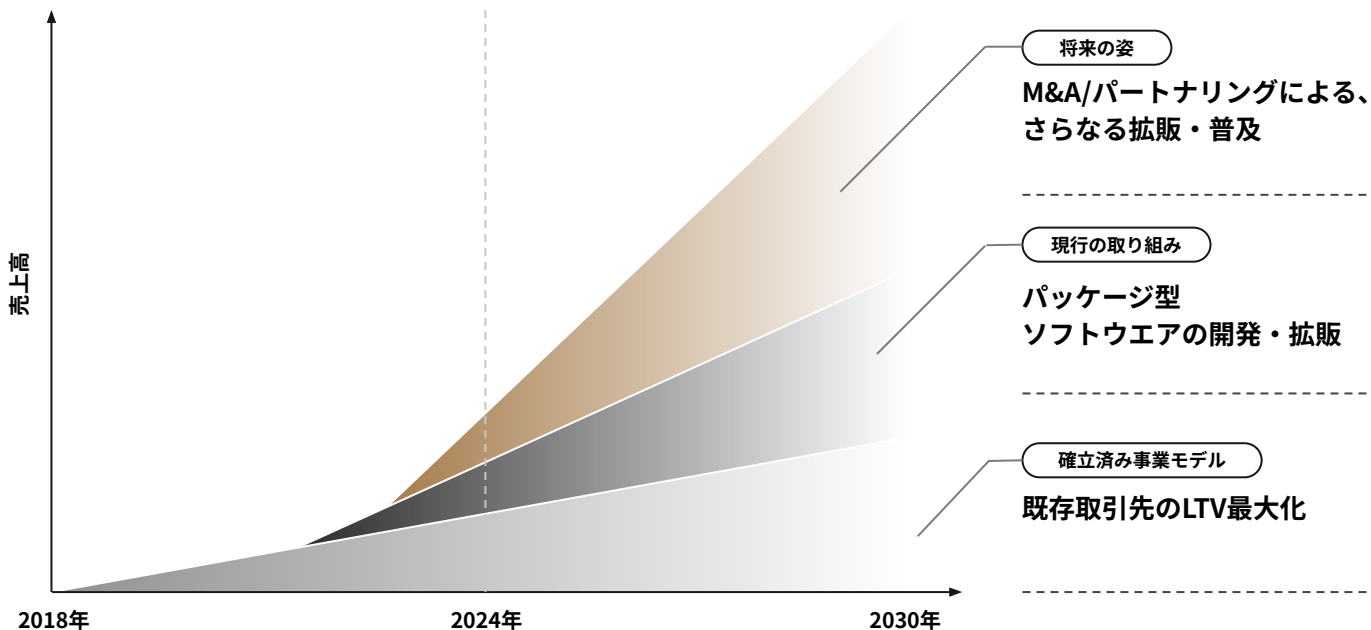
## 小野 種紀

東京大学、コーネル大学ロースクール、同ビジネススクール 修了

サリヴァン・アンド・クロムウェル法律事務所米国法弁護士として活動後、ゴールドマン・サックスを経て、三井住友銀行執行役員、SMB C日興証券常務取締役、日本郵便専務執行役員、日本郵政専務執行役を歴任。外国法事務弁護士。

# CEO松倉が、既存取引先のLTV最大化とコーポレートガバナンスを牽引。高橋は、AIソリューションの新パッケージ開発やM&Aに一層注力し、非連続成長を実現させる

中長期的な戦略（収益モデルの進化）



BUSINESS

# AIソリューション

AIエンジニア武者修行研修

ビルドアップパッケージ

Instructea - LLM

パッケージ型 ソフトウェア (SaaS)

カスタマイズ型 ソフトウェア

Cognea - 特殊紙面認識

Findea - 異常・損傷検知

Genea - 画像生成

Estimea - データ分析・予測

## ビルドアップパッケージ

### 組織開発戦略

DXリテラシー  
アセスメント

AI/DX組織開発  
ロードマップ

### 全社員向け

DXリテラシー研修

ChatGPTビジネス研修

### ビジネスパーソン向け

データ活用研修

AIビジネス研修

G検定対策講座

DS検定対策講座

AutoMLで学ぶ  
データ分析実践研修

ChatGPT  
アイデアソン研修

### エンジニア向け

AIエンジニア  
武者修行研修

データ分析  
コンペティション研修

E資格講座

機械学習講座

データ  
サイエンティスト研修

ディープラーニング  
領域特化研修

## カスタマイズ型 ソフトウェア

(技術コアモジュール)

Genea  
画像生成

Instructea  
LLM

Findea  
異常・損傷検知

Cognea  
特殊紙面認識

Estimea  
データ分析・予測

Recommea  
レコメンデーション

Movea  
行動認識

Numerea  
数値分析

Autea  
自動操作

## パッケージ型 ソフトウェア

(SaaS)

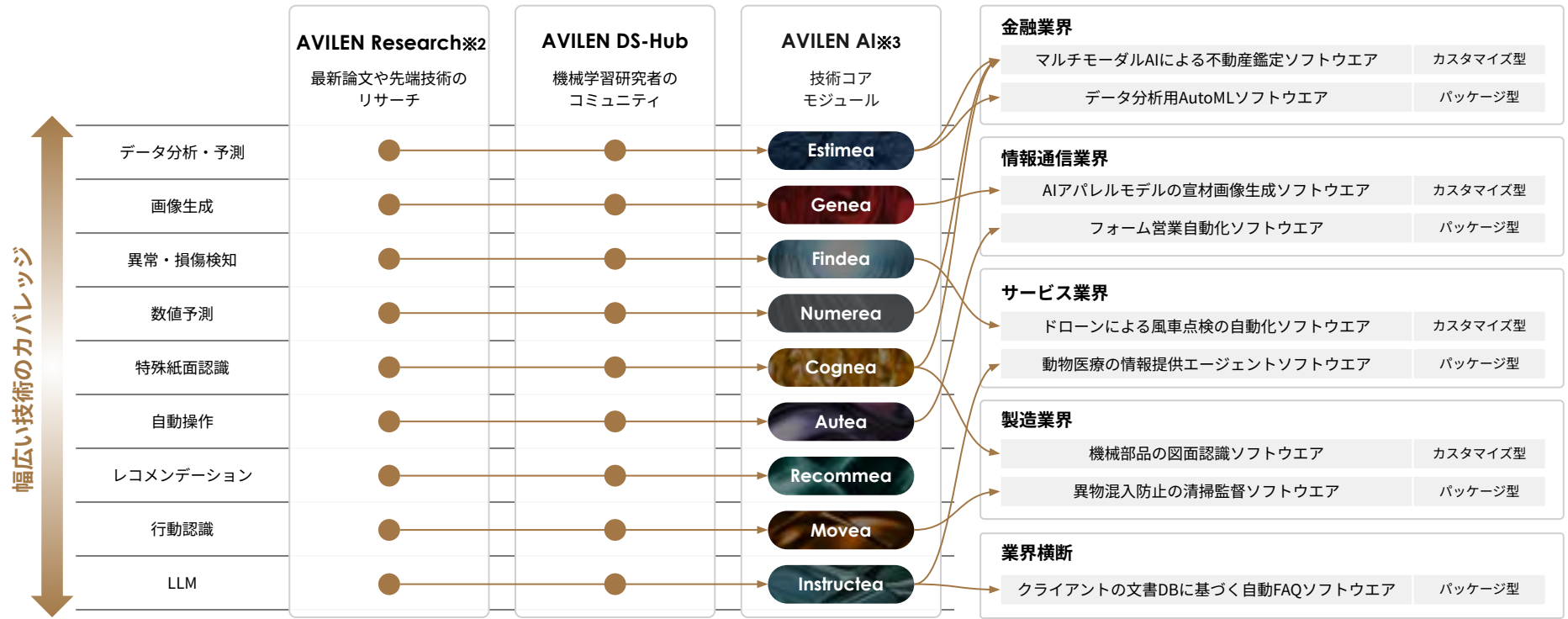
ChatMee

AI Seed  
(特許取得済)

LEAD DYNAMICS

AI Clean Manager  
(特許取得済)

# 幅広い技術コアモジュールを活用し、特定の業界に限定されない幅広い顧客の課題を捉え、効率的かつマルチモーダル※1なソフトウェア開発を実現

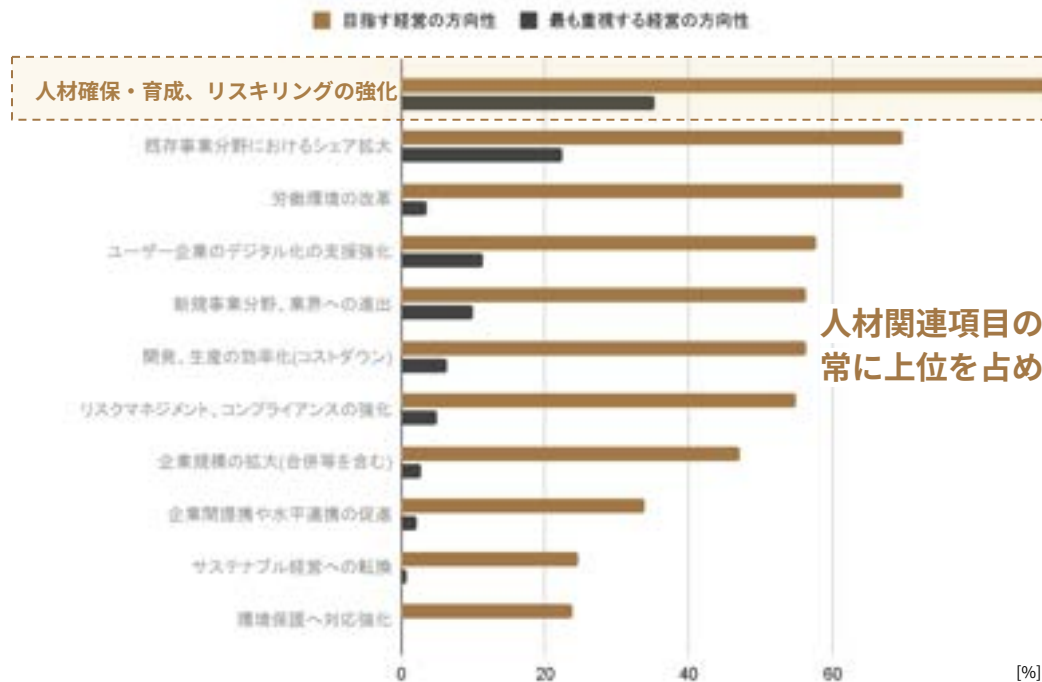


技術の最新性を担保

※1 | テキストや時系列データ等複数のコアモジュールを組み合わせて開発するAIソフトウェア  
 ※2 | 最新論文や先端技術のリサーチし、AVILEN AIをアップデートする社内の仕組み  
 ※3 | AIソフトウェアを開発する際の基盤となる技術コアモジュール。AVILEN AIを活用することで効率的なAIソフトウェアの開発が可能となる

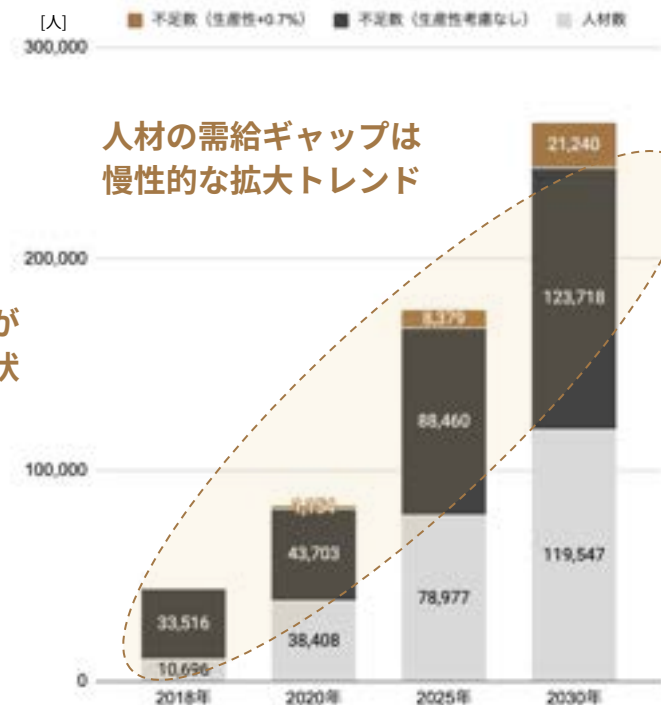
# 慢性的な人材不足 = 市場拡大のボトルネック = AVILENの優位性

## デジタル化による社会変化に応じた目指すべき経営の方向性



人材関連項目の課題が常に上位を占める現状

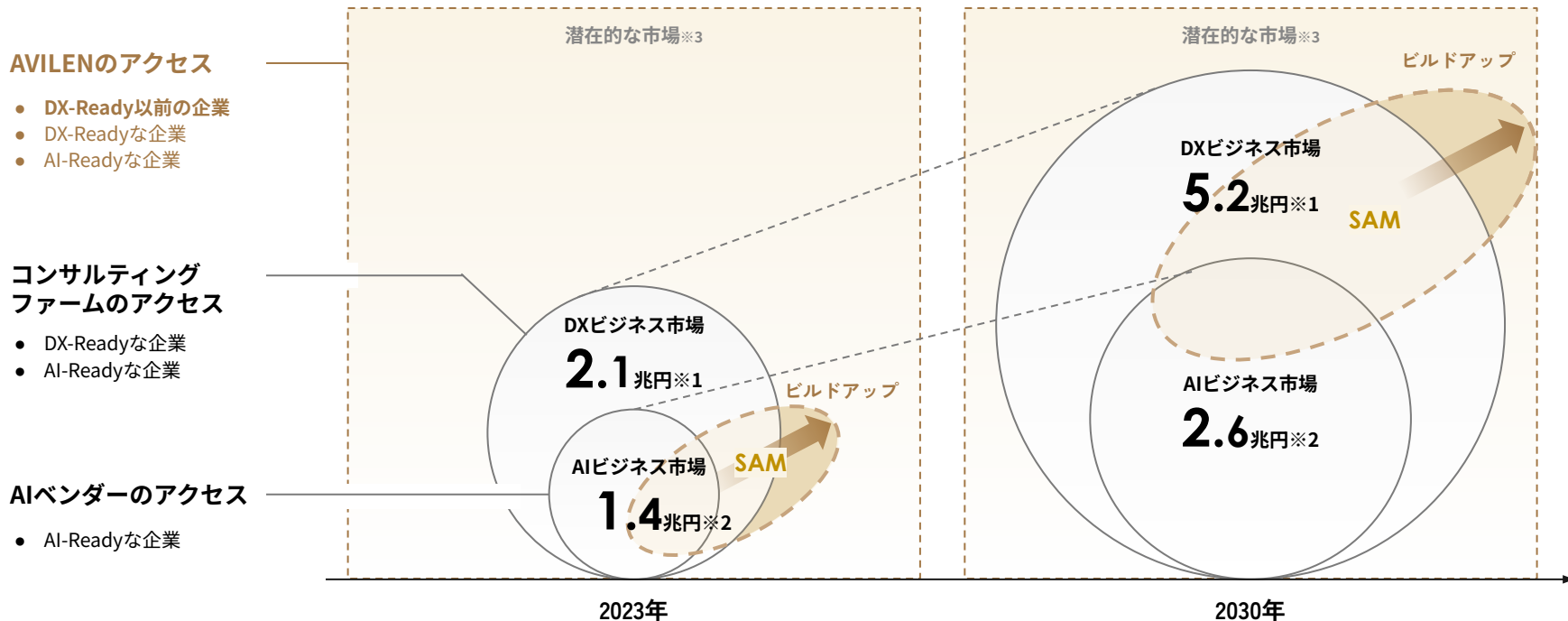
## AI人材の需給ギャップ



人材の需給ギャップは慢性的な拡大トレンド

出典：「デジタル化による社会変化と新しいテクノロジーの活用 情報サービス産業白書2024」より当社作成

# 「ビルドアップ」により潜在的な市場へアクセスし、AVILENがTAMを拡大



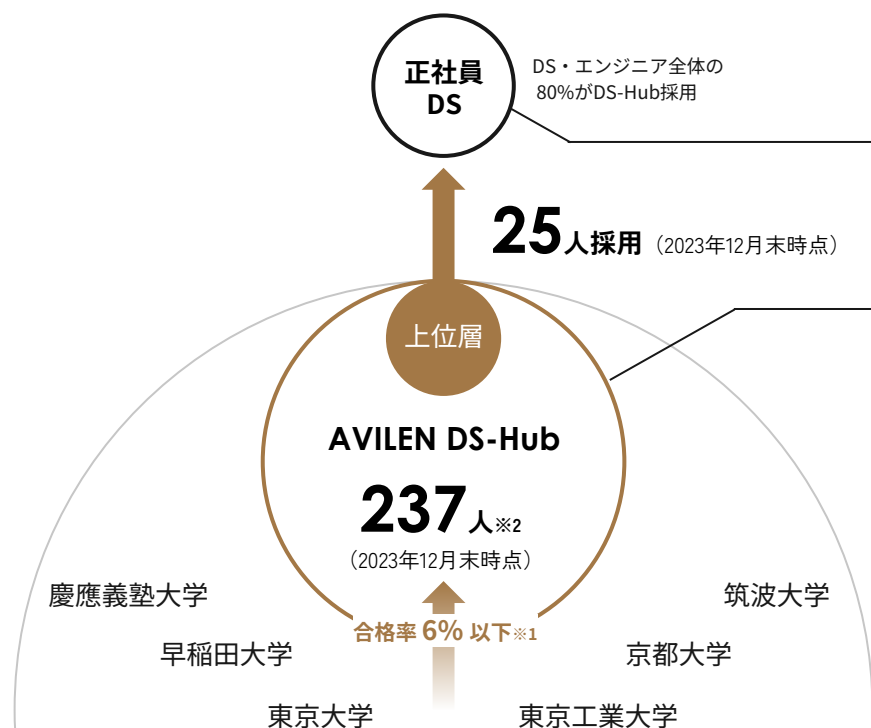
※1 | 富士キメラ総研「デジタルトランスフォーメーション (DX) の国内市場 (投資金額) 調査」より当社作成。日本におけるAIやIoTといったデジタル技術を活用し業務変革等のための投資額

※2 | 富士キメラ総研「人工知能ビジネス総調査」より当社作成。日本におけるAIを活用したサービス市場、アプリケーション市場、プラットフォーム市場の合計値。

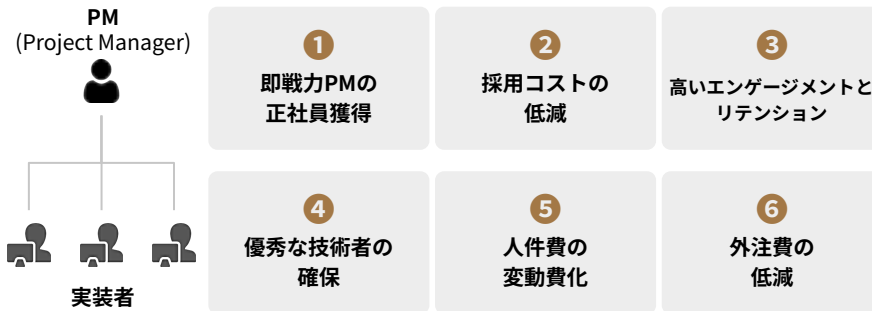
※3 | DX-Ready以前の企業における潜在的な市場を当社にて定義したもの



# 合格率6%以下の独自のスクリーニングテストにより形成した機械学習研究者コミュニティで、先端AI技術者のリソース確保と安定した採用ルートを実現



## 「DS-Hub」の6つの利点



## 「優秀な人材」が「優秀な人材」を招くエコサイクル

- 東京大学等出身の機械学習研究者を中心に構成される「役員陣」
- 高い技術力と実績を持つ「正社員DS・エンジニア」  
(IPA未踏スーパークリエイター / kaggleメダリスト / JPHACKS2021イノベータ認定エンジニア / 国際学会へ3本の査読付き論文が採択された研究者 / 東京工業大学非常勤講師 / …)
- DS-Hubのメンバーはアカデミックな研究を実現場で応用できるため、ビジネスで活用できるデータサイエンス力を付けることが可能

※1 | 2023年12月期の実績。辞退者を含む採用試験合格者数を応募人数で除した数値

※2 | 237名にはスライド記載の大学・大学院以外も含む

# ビルドアップパッケージにより企業のテクノロジー活用アビリティを強化。 AI搭載ソフトウェアによる課題解決まで「真の一气通貫モデル」を提供



顧客内における他部門への拡大、商品のクロスセルで高い継続率を実現。AI-Ready以前の企業がビルドアップパッケージを活用しAIリテラシーを向上、当該企業に対してシームレスにAIソフトウェアを提供

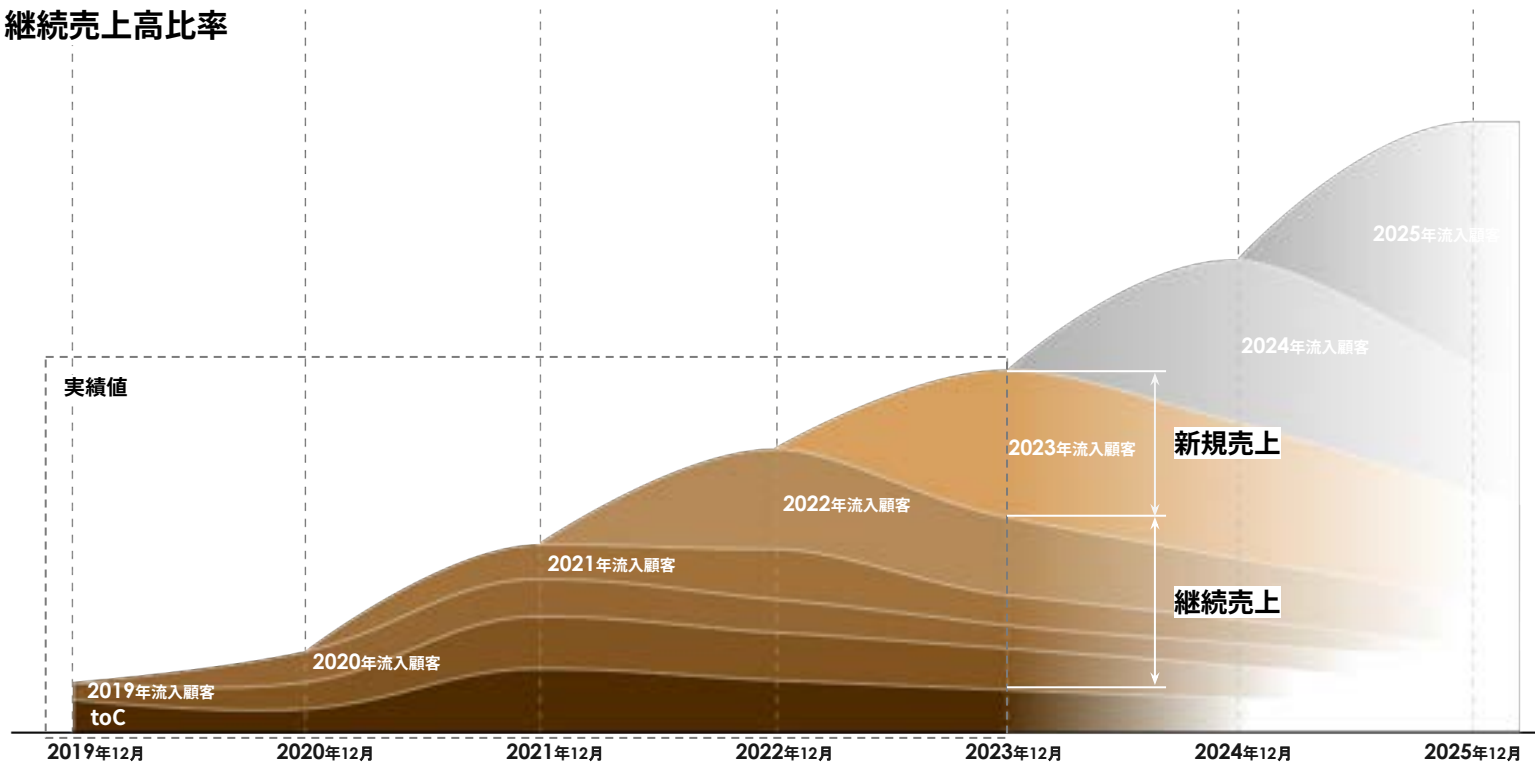
## LTV※1拡大の一般例



※1 | Life Time Valueの略称で、「顧客生涯価値」と訳される。一社の顧客が取引を始めてから終わりまでの期間（顧客ライフサイクル）内にどれだけの利益をもたらすのかを算出した指標

## 新規顧客数の拡大と安定的な積み上げ型成長を実現

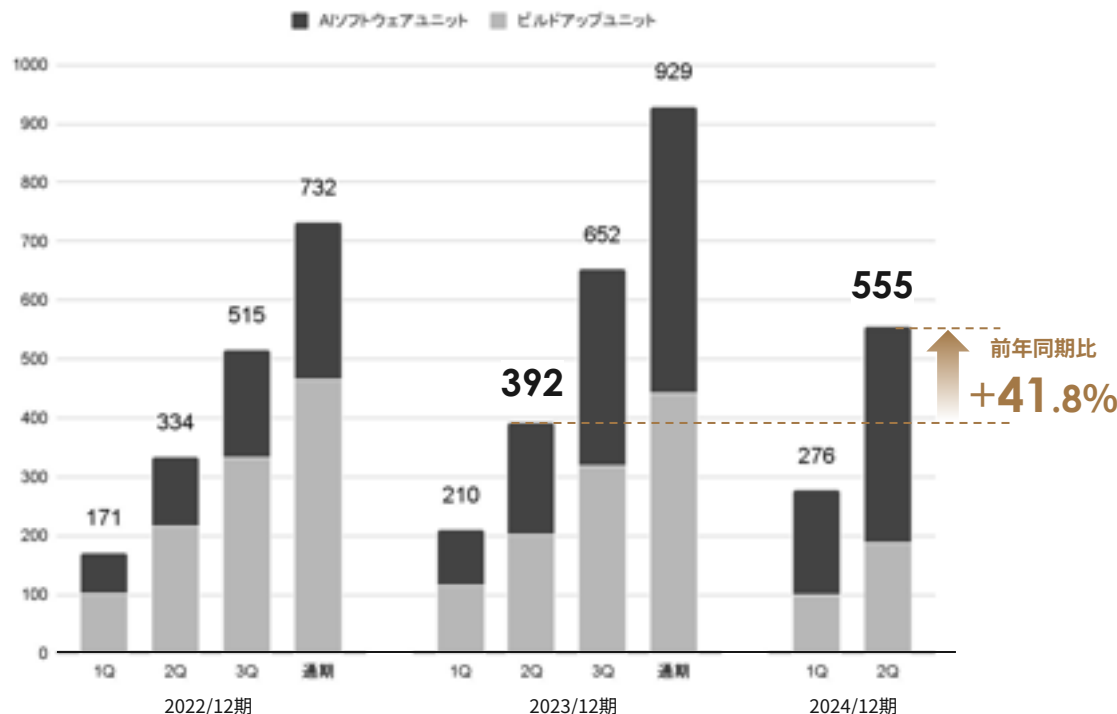
### 売上高と継続売上高比率



# 2024年12月期 第2四半期 業績

# 通期の売上高は555百万円、前年比では2022年以降で最大の+41.8%で成長

## 四半期売上高推移 [百万円]



## 全社ベース

- 売上：555百万円。前年比では2022年以降で最大の+41.8%で成長
- パイプラインも潤沢に積み上がっており、2024年7月末時点での受注残を含めた売上高は960百万円

## AIソフトウェア

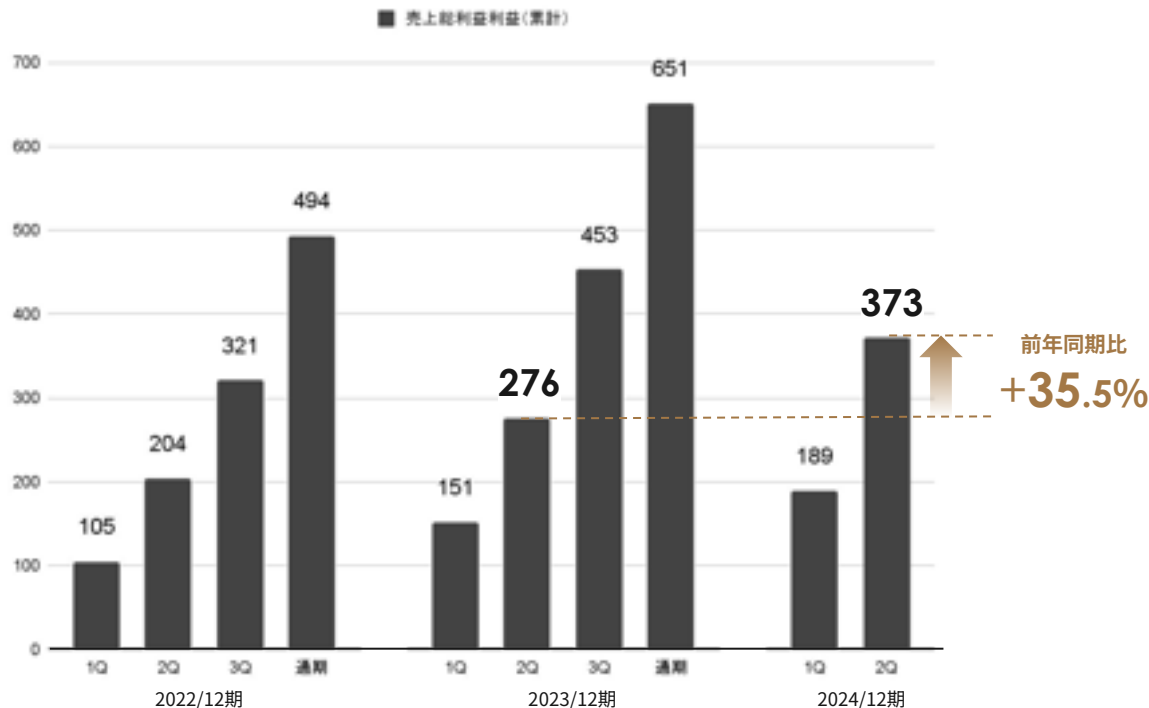
- 売上：365百万円（前年比+93.3%）
- 昨年度からスタートした既存大型プロジェクトが通期で寄与しつつ、新規で生成AI案件関連プロジェクトも積み上がり

## ビルドアップ

- 売上：190百万円（前年比-6.1%）。E資格売上高が昨年対比20百万円程度減少（受注ベース）した影響
- 下期にかけてコンサル案件及び7月に新規リリースした幅広い生成AIコンテンツでE資格売上高を補完。大型のコンサル案件のデリバリーが8月からスタート

## 通期の売上総利益は373百万円（前年比+35.5%）で成長

四半期売上総利益推移 [百万円]

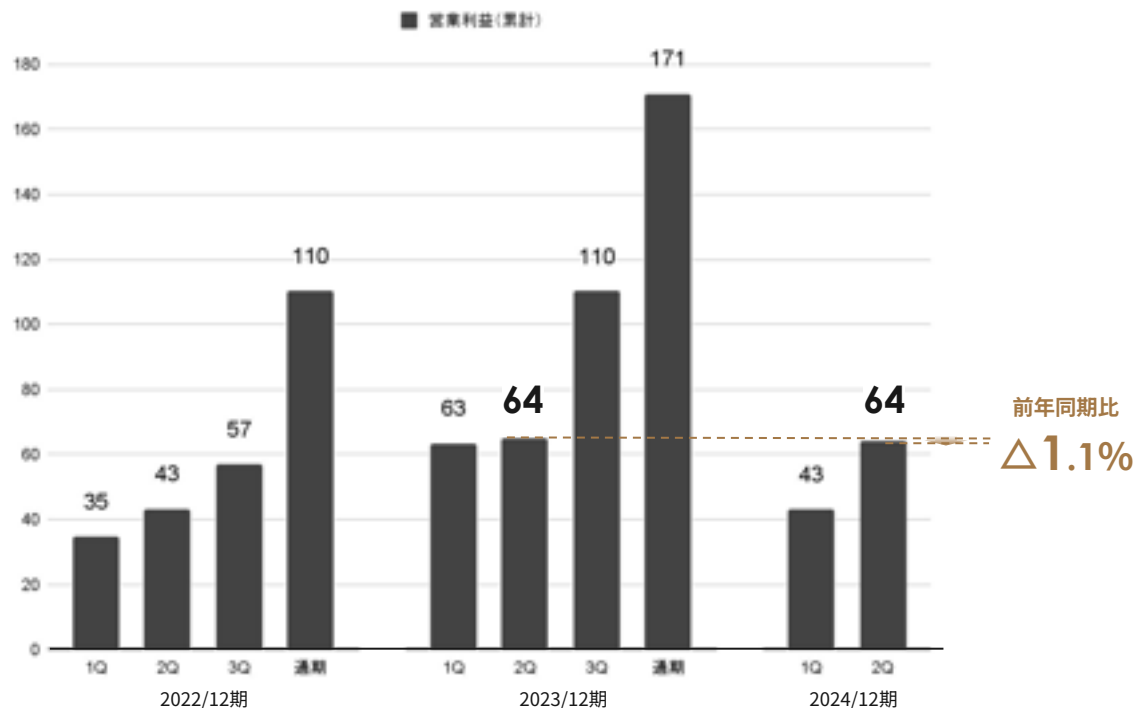


### 全社ベース

- 売上総利益：373百万円
- AIソフトウェアを中心に案件単価上昇傾向にあり、前年同期比+35.5%
- 売上総利益率：AVILEN DS-hubの活用含め適切なコストコントロールも出来ており売上総利益率は67.3%と一定の水準確保

## 通期の営業利益は64百万円となり1Q時点でのギャップを大幅に縮小

四半期営業利益推移 [百万円]



### 全社ベース

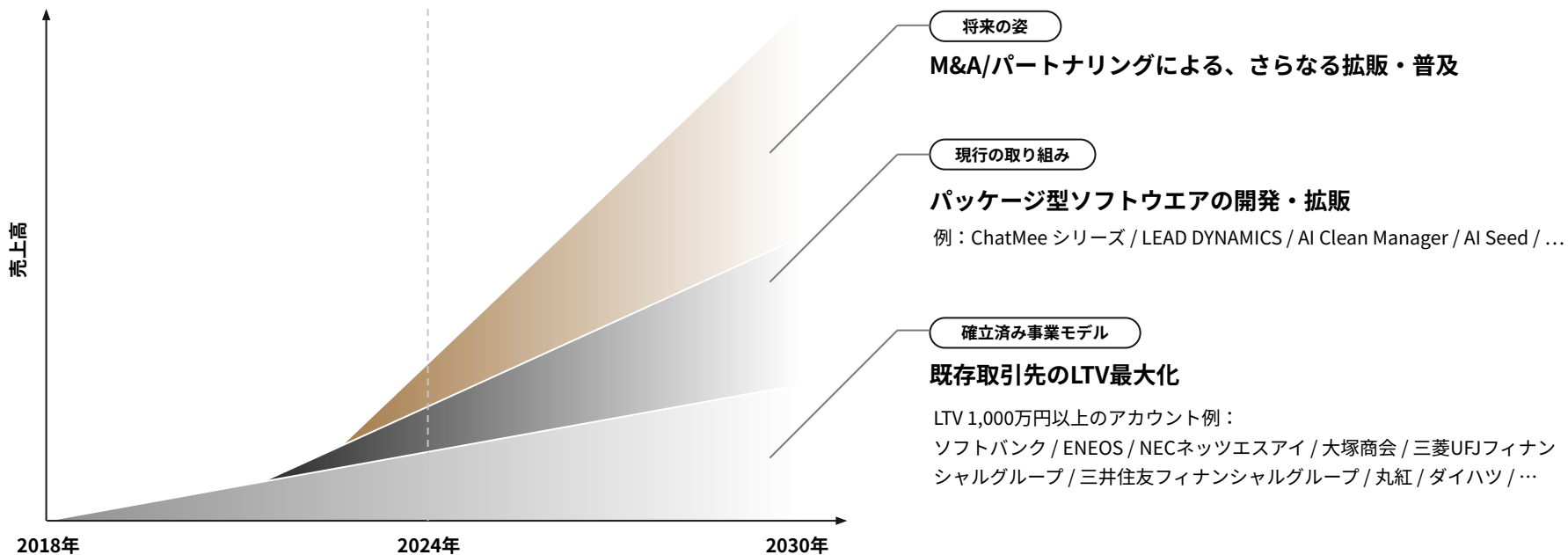
- 営業利益：64百万円（前年比-1.1%）
- 1Q時点では前年比-32.1%であり、2Qで大幅にギャップ縮小
- ビルドアップの営業力及びクオリティ向上のために人員拡充した分をキャッチアップしつつある状況
- DShubの活用により変動費率は前年比-2.7%の17.0%まで低減
- 3Q以降は、変動費率の低いビルドアップの売上高増加が営業利益率改善に寄与する見込み



# 中長期的な戦略とビジネスアップデート

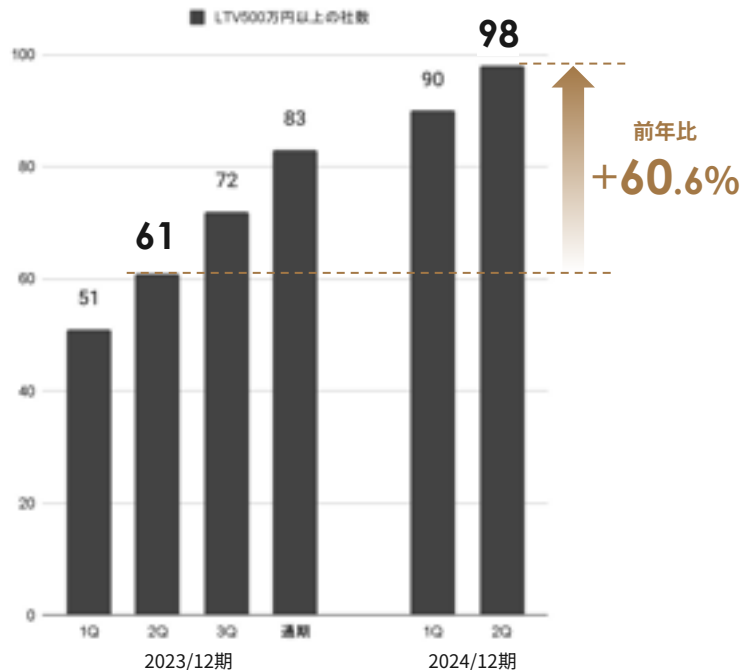
# 業界共通課題を解決するパッケージ型ソフトウェアを拡販。 M&A/パートナーリングにより、さらに普及を加速させ非連続成長を実現させる

中長期的な戦略（収益モデルの進化）



# 重点顧客の選別及び、ビルドアップとAIソフトウェア間のクロスセルによる一気通貫でのサービス提供を徹底し、既存取引先のLTV最大化を目指す

LTV500万円以上の社数



LTV上位10社のLTV成長率

(2024年12月期2Q時点のLTV / 初回取引金額)

A社	金融	72倍
B社	製造	14倍
C社	情報・通信	35倍
D社	情報・通信	30倍
E社	情報・通信	20倍
F社	情報・通信	19倍
G社	情報・通信	133倍
H社	情報・通信	7倍
I社	情報・通信	1,989倍
J社	卸売	22倍

## 現状の取り組み

- ビルドアップとAIソフトウェアのクロスセルを実施
- ビルドアップの顧客に、AI活用に向けたChatMeeやソフトウェア開発の提案及びAIソフトウェアの顧客に対し、現場への浸透を図るためにビルドアップの提案を実施

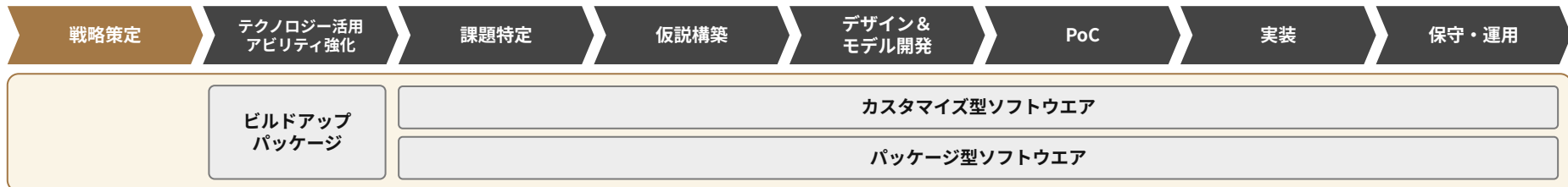
## 戦略

- 重点顧客の選別と一気通貫でのサービス提供を徹底
- サービス・プロダクト提供の拡余地の大きい顧客を選定し、常駐を含めた密着サービスで顧客業務の理解と信頼関係構築を進め、一気通貫の提案を行う

## 目標

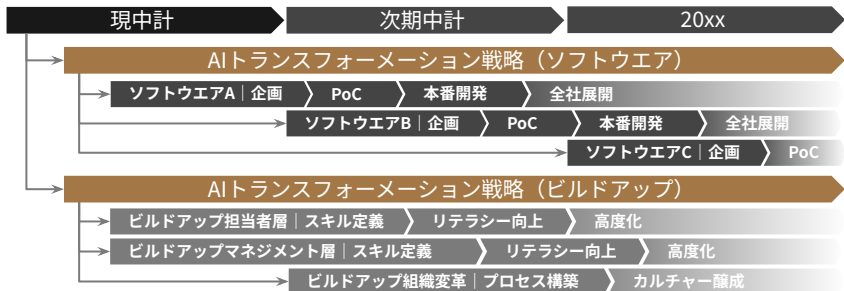
- FY24については、重点顧客の数と重点顧客からビルドアップとChatMeeを含めたAIソフトウェア間のクロスセルにより年間売上高を実績対比で数倍を目指す

# AIソリューション提案の範囲を企業の戦略策定支援へと広げ、より本質的な顧客価値を広範囲×長期間にわたり提供することでアカウントのLTV最大化を狙う



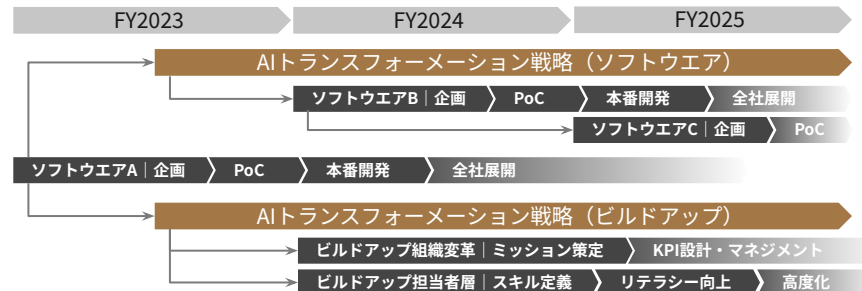
## 新規アカウントへのアプローチ例 (大手プライム上場メーカー)

- 顧客の中期経営計画からブレイクダウンし、AIトランスフォーメーション戦略を支援
- エグゼキューションとしてソフトウェアの長期パッケージを提供



## 既存アカウントへのアプローチ例 (大手自動車メーカー)

- ビルドアップ/ソフトウェアのデリバリーを通じて上流の課題を特定し、AIXビジョンマップを策定
- 範囲を拡大・長期化したビルドアップ/ソフトウェアのパッケージを提供



# 作業の脱属人化を図り、業務工数を大幅に削減するAIによる図面自動認識システム

受注業務を半自動化し、フォーマットの異なる紙面でも高精度な認識を可能に

建設業

図面認識

## 課題

クライアントから送付される紙の図面をもとに、建築設備にかかる部品を目視確認し部品の型番や個数などを特定し見積もり金額を算出していた。数万点の部品をさばくのに膨大な工数がかかっており、属人化した運用体制から脱却を図りたいと考えていた。

## ソリューション

- 図面(画像)認識AI・AI-OCR・生成AIを活用し、**図面からの見積もり業務を自動化** (オペレーターは確認作業のみを対応)
- どのようなフォーマット(クライアントごとに異なり統一することが難しい)でも、**実用レベルの高精度な認識を可能に**

## 成果

作業工数  
83%以上削減

業務の属人化  
解消



# 動作試験中の異常を検知する AIシステムの開発を支援

プロジェクト推進とAI開発に関するコンサルティングで、開発が大きく前進

製造業

異常検知

## 課題

製造業における製品の動作試験には大破・火災などのリスクがつきものであり、「異常を素早く見つけること」と「異常の原因を究明すること」が非常に重要。クライアントは発見・原因究明に多大な時間を要しており、AIによる異常検知システムの構築を試みていたが、ノウハウ不足が原因でプロジェクトの進行がうまくいっていなかった。

## ソリューション

異常検知AIシステムの開発支援のため、主に以下のことを行いました。

- AIプロジェクトの進め方やマネジメント方法のアドバイス
- 開発プロセスの進捗管理とタスクマネジメント支援
- AI開発に関する技術的知見の共有

## 成果(目標)

異常検知の早期化により、  
大破・火災事例を1桁→0件/年へ

原因究明期間を50%に短縮  
(AVILEN想定値)

製品動作試験の  
安全性向上

社内AIプロジェクト  
推進力の向上



# 一般財団法人 山口県デジタル技術振興財団 主催の実践型育成プログラムを監修し 山口県内のAI人材育成・AI活用推進を支援

7月23日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000205.000043360.html>)

## AVILEN、AIトランスフォーメーション人材育成事業を通じて山口県内のAI活用推進を支援

一般財団法人 山口県デジタル技術振興財団が主催の実践型育成プログラムを監修・提供

株式会社AVILEN 2024年7月23日 10時00分



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、一般財団法人 山口県デジタル技術振興財団（所在地：山口県山口市、理事長：藤田 英樹、以下「山口県デジタル技術振興財団」）が主催するAIトランスフォーメーション人材育成事業のプログラム監修・提供を通じて、同様のAI活用推進を支援することをお知らせいたします。

### ◆背景

山口県では、「中長期的デジタル改革基本方針」の施策の3つの柱の1つである「デジタル・エリアやまぐら」の形成によってデジタル人材の育成を推進しており、DX推進の鍵となるデザイン思考やAI、データ活用等、DX創出に必要な技能を習得し、行政・企業等の内部でDXを推進できるリーダー人材を育成する方針を定めています。

この方針に対し、AIや生成AI等が社会のあらゆる分野に浸透するAI時代の到来を踏まえ、県内企業・団体等のAI活用をサポートするとともに、山口県におけるAIを活用してDXを実現する人材を育成するためのプログラムとして、今年度から新たに「AIトランスフォーメーション人材育成事業」を実施することになりました。

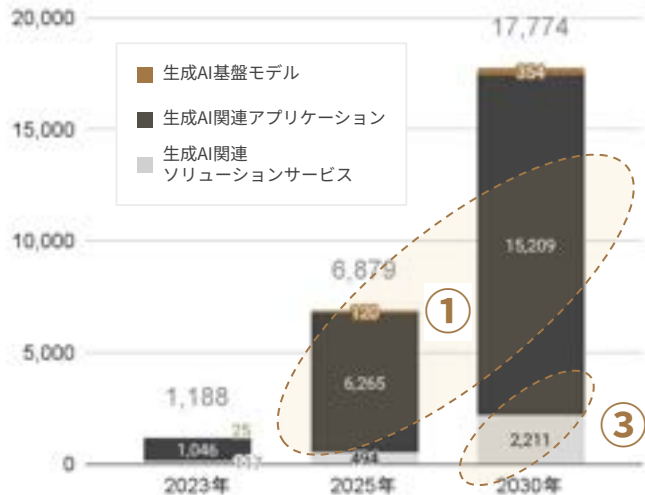
### ◆AIトランスフォーメーション人材育成事業の目的



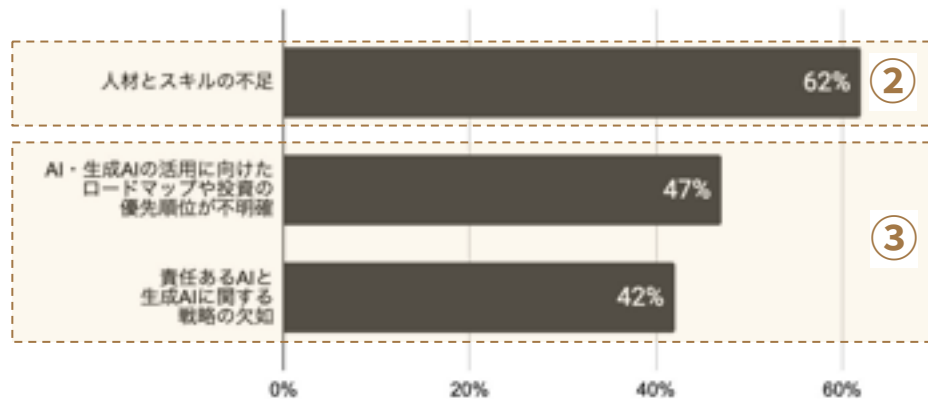
AI活用スキルとビジネス的ノウハウを併せ合わせ、AIを中心とした課題解決プロジェクトとビジネスを結びつけて新たな価値を創造できる人材を「AIトランスフォーメーション人材」と位置づけ、山口県内におけるAIXの推進を醸成するとともに、実際にAIトランスフォーメーションを企画・実行できるレベルまで県内の人材を育成することが本プロジェクトの大きな目的です。

# 生成AIはAIの民主化を加速し、新たな市場を創出。AIソフトウェアの需要拡大に伴い「人材の需給GAP」が深刻化すると共に「真に価値のある生成AI活用のニーズ」が顕在化

生成AI市場の需要額見通し(日本) [億円]



経営層が自社のAI・生成AIへの取り組みの進捗に不満を抱いている理由(世界)



## ①AIソフトウェアの需要拡大

簡易な実装で解ける課題が増えて参入障壁が下がり、プレーヤーも増加

## ②人材の需給GAP

ツールは増える一方で、ユーザーのリテラシー不足が一層深刻に

## ③真に価値のある生成AI活用のニーズ

早期に取り組み始めた大手企業等は、トライアル目的のアプリ導入から、経営に資する活用に向けた戦略策定やソリューションの探索へシフト



# AIソフトウェアとビルドアップパッケージを通じて蓄積した、生成AI技術と各業界ドメインの理解により「生成AI活用による事業付加価値」を確実に提供できる点がAVILEN独自の優位性

## ①AIソフトウェアの需要拡大

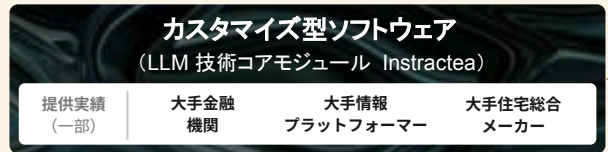


ユーザーのリテラシー不足

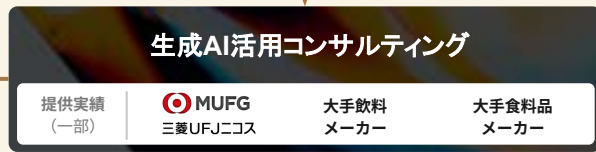
## ②人材の需給GAP



ユースケースや課題の発掘



質の良い 案件の創出



## ③真に価値のある生成AI活用のニーズ

# 基礎知識から応用まで学べるステップアップ式の生成AI研修サービスを展開 豊富な研修ラインナップから、最適な育成プランを提案可能に

6月4日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000201.000043360.html>)

## AVILEN、基礎知識から応用まで学べるステップアップ式の生成AI研修サービスを展開

—生成AIを実務で活用するために、職種ごとに求められる知識・スキルを習得可能—

株式会社AVILEN 2024年6月4日 11:00



株式会社AVILEN（東京都中央区、代表取締役：高橋光太郎、以下「AVILEN」）は、様々な業種・業界のクライアント企業に生成AI人材育成支援サービスを提供しています。

この度、生成AI活用における役割（職種）ごとに身につけるべき知識・スキルを、ステップアップ形式で学習できる生成AI研修ラインナップの提供を開始いたします。

### ◆生成AI研修サービス提供の背景

総務省・経済産業省が2024年1月に発表したAI事業者ガイドラインでは、AIを取り扱う人材は4種類の人材タイプに分類されています。

ビジネスシーンにおける生成AI活用が目指が高まる現在、AI活用における役割・職種ごとに求められる知識や活用方法を段階的に学ぶことが重要になっています。

（※1）総務省・経済産業省「AI事業者ガイドライン案」

[https://www.meti.go.jp/shinokai/mono\\_info\\_service/ai\\_shakai\\_issac/pdf/20240119\\_1.pdf](https://www.meti.go.jp/shinokai/mono_info_service/ai_shakai_issac/pdf/20240119_1.pdf)

### ◆生成AI研修サービスの概要



# 株式会社クレハの社員（米国拠点含む）にChatGPT活用プラットフォーム「ChatMee」を提供。ChatGPTの安全なビジネス活用をグローバル規模でサポート

3月21日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000192.000043360.html>)

## AVILEN、株式会社クレハの社員（米国拠点含む）にChatGPT活用プラットフォーム「ChatMee」を提供

～ChatGPTの安全なビジネス活用をグローバル規模でサポート～

株式会社AVILEN 2024年3月21日 11時00分



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、株式会社クレハ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林 豊、以下「クレハ」）の社員1,722名（米国拠点含む）にChatGPT活用プラットフォーム「ChatMee」を提供しました。



### ・「ChatMee」活用の一瞥

#### ①市場調査や文献調査の効率化

研究員が市場調査や文献調査において「要約の出力」で活用。社務調査、市場調査の初期段階における概要の把握が簡単にできるようになり、迅速な情報収集や新規事業のアイデア出しに活用しています。

#### ②翻訳や要約での効率化

海外に多くのグループ会社を持つクレハでは現地とのコミュニケーションが多発します。特に英語圏以外でのやり取りも発生しますが、中国語、韓国語、ベトナム語などの翻訳・要約機能により大幅に業務が効率的になりました。

#### ③プログラミングの効率化

簡単なものはEXCELのマクロ、VBAのコーディング、難しいものはPythonの機械学習用のコーディングなど知識がまだ十分でない人向けにコーディングを提案して貰えるので、プログラミングが不得意な方でも簡単にシステム開発ができるようになりました。

### ・今後の展望

AVILENは、フォローアップウェビナーの開催など、クレハ社内における「ChatMee」活用のさらなる普及と活用方法の負担を軽減して導入後もサポートを継続しています。

また、先行して提供が開始した米国拠点に加え、新たな国（ドイツ・オランダ・フランス・イギリス・オーストラリア・中国・ベトナム・韓国）の海外拠点での導入に向けた支援を続けています。

# 三菱UFJ信託銀行株式会社にChatGPT活用プラットフォーム「ChatMee」を提供。 生成AI活用で月平均2,000時間以上の業務時間削減を実現

8月9日掲載のAVILENコーポレートサイト内お客様インタビュー ([https://avilen.co.jp/case-article/chatmee\\_mutb/](https://avilen.co.jp/case-article/chatmee_mutb/))

## 【ChatMee導入事例】三菱UFJ信託銀行、生成AI活用で 月平均2,000時間以上の業務時間削減を実現

2024.8.09 | 2024.8.09 | ChatMee



三菱UFJ信託銀行株式会社（以下、MUFG）は、2024年7月から導入開始したChatGPT「ChatMee」を全社で導入開始。業務効率における生成AI活用の先駆者として、現在も生成AI活用による業務効果が様々な形で認められています。

今回は同社にて生成AIの革命的な導入 - 活用をリードされているデジタル統括部のX氏に業務改善の経緯についてお話を伺いました。

## 「ChatMee」の活用方法

西岡：一般社員の社内活用方法としてよく耳にするのが、翻訳と要約です。英文の日本語訳はもちろんですが、現地ローカルの社員に対するメールやアナウンスを日本語から英訳する業務でも効率化できたと聞いています。また、企画職ではアイデアの整理も役として活用するケースが多いようで、実際に私も頻りに活用し非常に使い勝手がいいと感じています。

自身の業務を行う際、同時に並行でバックグラウンド的に生成AIに別の作業を依頼することで業務効率化ができていくという声も挙がっていて、プログラムのコード生成やVBAツール作成でも有用だという意見も出ております。

## 「ChatMee」導入後の効果

西岡：全社員約6,000人のうち、現在2,000人ほどがアクティブな利用者で、先日利用者を対象にアンケートを実施しました。使用頻度は人によってまちまちでしたが、有効回答の時間削減効果を確認すると、月平均で2,000時間の業務工数が削減できていることがわかりました。有効回答数は約半分ほどだったので、この数値以上に大きな効果が出ているのではないかと考えています。

# 生成AIを活用したコールセンターオペレーター向け 応対品質評価システムを提供開始

7月31日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000206.000043360.html>)

## AVILEN、生成AIを活用したコールセンターオペレーター向け応対品質評価システムを提供開始

～教育にかかる工数・費用を削減しつつ、オペレーションの効率化と応対品質の向上を実現～

株式会社AVILEN 2024年7月31日 10時00分

### 生成AI活用による 応対品質評価 システム

応対品質評価を自動化し  
オペレーターの育成をサポート



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、生成AIを活用したコールセンターオペレーター向け応対品質評価システムを開発し、提供開始したことをお知らせいたします。

### ◆開発の背景



応対品質は、顧客満足度やロイヤリティ向上につながる重要な要素であり、コールセンターではオペレーターの成長を目的に「応対品質評価」（＝日々の受け答えに対して教育担当からフィードバックを行うこと）を実施することが一般的です。しかし、教育担当の人材確保などコストが嵩むことから、十分に実施できていないという企業も少なくありません。

生成AIを活用し、オペレーター教育時の応対品質評価を自動化することで、オペレーションの効率化と応対品質向上の実現を支援します。

# 問い合わせ履歴の集計・分類し、 分析レポートとダッシュボードを自動作成

ダッシュボード作成まで完全自動化し、手動を上回る分析精度を実現

製造業

生成AI

## 課題

メール・電話・チャットボットで、製品についての問い合わせを受け付けており、その内容を毎月人手で集計し分析レポートを社内を展開している。月数万件に及ぶ問い合わせデータを自動で集計・分析し、作業工数を削減したかった。

## ソリューション

- 生成AIの活用により、集計・分析・ダッシュボード反映まで完全自動化
- 分析した結果は、継続的にPDCAサイクルを回す情報源として活用

## 成果

集計・分析作業

1→0人月

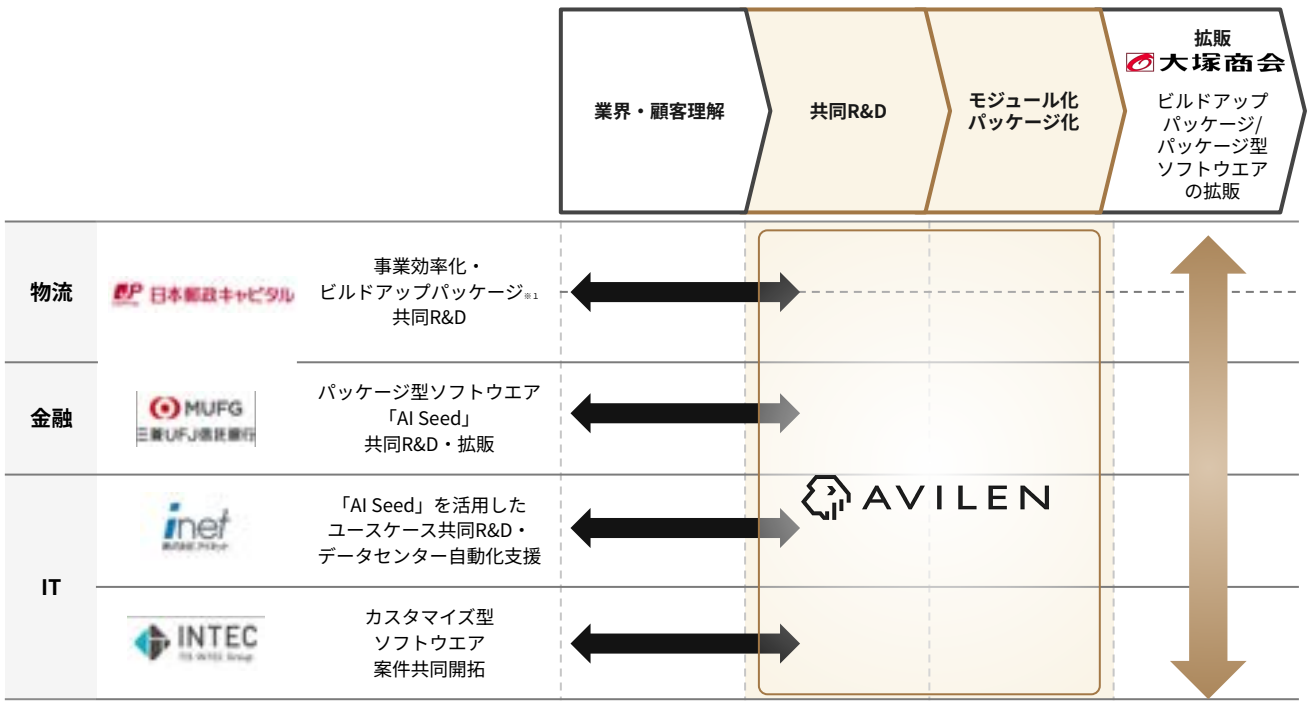
レポート展開

4時間→1時間

分析精度 **70%(手動時)→93%(AI)**



# 非連続的な成長を行うための戦略的資本関係等を構築し、実績の積み上げを目指す



### 現状の取り組み

- 大塚商会、三菱UFJ信託銀行等の大手上場企業との資本業務提携を締結

### 戦略

- M&Aについては、自社のケイバリティ拡充やAI活用による買収先のバリューアップを目的とした実施が考えられる
- 戦略的パートナーシップを締結しているジャパンインベストメントアドバイザーとも連携
- パートナーリングについては、①当社の提供サービス・プロダクトのクオリティを向上させる顧客・業界課題の把握フェーズでの連携と、②当社のパッケージ化された製品（主にChatMee）を効率的に販売する拡販・顧客サービスフェーズでのパートナーリングを強化する

### 目標

- FY24において、一層の成長を行うため、確実に実績を積み込むことを目指す
- ChatMeeについても、パートナー企業と連携しながら更なる導入数の拡大と解約率0%を目指す

# 非連続的な成長を目指し大塚商会とのシナジー創出に向けた多角的な取り組みを推進





# 株式会社大塚商会と「Copilot for Microsoft 365 活用研修」の共同開発および講座提供を開始

4月2日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000197.000043360.html>)

## AVILEN、株式会社大塚商会と「Copilot for Microsoft 365 活用研修」の共同開発および講座提供を開始

～Copilotのビジネス活用に必要な要素を数時間で凝縮して学習できる～

株式会社AVILEN 2024年4月2日 11:00



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、株式会社大塚商会（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大塚 祐亮、以下「大塚商会」）と「Copilot for Microsoft 365 活用研修」を共同開発しました。



### ●研修内容



「Copilot for Microsoft 365 活用研修」は、Copilotのビジネス活用に必要な要素を数時間で凝縮して学習できるオンラインゲーミフィケーション形式のオンライン研修です。

### ●受講対象

Copilotを導入する企業のお客さま

### ●特色

Copilotの全体像を把握し、業務の効率化を理解できる

### ●期待できる成果

Copilotも従業員が活用できることで業務効率化を図り、生産性を大幅に向上させる

実際に手を動かして使い方を学ぶワークショップもあるため、実習ですぐに役立つCopilot活用スキルが身につきます

# APPENDIX

## 会社概要・財務諸表

## 会社概要

会社名	株式会社AVILEN
住所	〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-3-3 秋葉原ファーストスクエア9階
設立	2018年8月
資本金	5,392万（2024年6月末時点）
従業員	59名（2024年6月末時点）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● 生成AI等をはじめとした技術コアモジュール「AVILEN AI」を活用した、AIソフトウェアの開発および実装</li><li>● AI-Readyな企業に対してAIドリブンなビルドアップパッケージを提供</li><li>● AIトランスフォーメーション推進のための戦略策定および実行支援</li></ul>

## 損益計算書

(千円)	23年2Q	24年2Q	前年対比	
売上高	391,818	<b>555,665</b>	+163,846	+41.8%
(AIソフトウェア)	188,836	<b>365,069</b>	+176,233	+93.3%
(ビルドアップ)	202,981	<b>190,595</b>	△12,386	△6.1%
売上原価	116,098	<b>181,933</b>	+65,835	+56.7%
売上総利益	275,719	<b>373,731</b>	+98,011	+35.5%
販売費及び一般管理費	210,683	<b>309,386</b>	+98,703	+46.8%
営業利益	65,036	<b>64,344</b>	-691	△1.1%
中間純利益	46,947	<b>39,077</b>	-7,869	△16.8%

## 貸借対照表

(千円)	23年度	24年2Q
流動資産	532,827	<b>541,957</b>
現金及び預金	279,689	<b>259,352</b>
売掛金及び契約資産	221,631	<b>231,453</b>
固定資産	92,126	<b>95,786</b>
有形固定資産	432	<b>5,966</b>
無形固定資産	63,657	<b>61,782</b>
投資その他の資産	28,037	<b>28,037</b>
資産合計	624,954	<b>637,743</b>

(千円)	23年度	24年2Q
流動負債	209,249	<b>178,622</b>
負債合計	209,249	<b>178,622</b>
株主資本	414,310	<b>457,726</b>
資本金	51,760	<b>53,929</b>
資本剰余金	48,760	<b>50,929</b>
利益剰余金	313,790	<b>352,867</b>
新株予約権	1,395	<b>1,395</b>
純資産合計	415,705	<b>459,121</b>
負債純資産合計	624,954	<b>637,743</b>

# APPENDIX

## 実績・取り組みの例

# 法人向けChatGPT「ChatMee」が最新モデルのGPT4oに対応 画像や表などの読み取り機能を強化し、回答精度を向上

6月18日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000202.000043360.html>)

## AVILENが提供するChatGPT活用プラットフォーム「ChatMee」、最新モデルのGPT4oに対応

—画像や表などの読み取り機能を強化し、回答精度を向上—

株式会社AVILEN 2024年6月18日 11:00



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）はChatGPT活用プラットフォーム「ChatMee」のアップデートを実施し、OpenAIの最新生成AIモデル「GPT-4o」に対応したことをお知らせいたします。

### ◆「GPT-4o」対応の背景

「GPT-4o」は、より自然なAIとのコミュニケーションを実現したOpenAIの最新生成AIモデルです。テキスト・音声・画像・動画を任意の組み合わせでインプットすることができ、従来モデル以上の速度で高精度の回答が得られます。また、特に視覚と音声の理解に優れている点も特徴です。

### ◆今後の展望

「GPT-4o」対応のアップデートを経て、アップロードしたファイルを参照できるファイルプロンプト機能の大規模アップデートを予定しています。

GPT-4oによりドキュメントの読み取り機能が強化されることでより高精度な回答を実現するとともに、独自開発した専用UIを追加することでドキュメントに対するシームレスな翻訳・要約・QAを提供します。

また、GPT-4oにマッチした最新の料金プランも展開して参ります。

# 法人向けChatGPT「ChatMee」を業界最安値（※1）で提供開始

6月25日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000203.000043360.html>)

## AVILEN、高セキュリティの法人向けChatGPT「ChatMee」を業界最安値（※1）で提供

～1人あたり月額150円（税込165円）でエンタープライズも導入するセキュアな法人向けChatGPTプラットフォームを提供開始～

株式会社AVILEN 2024年6月25日 11時00分



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役・高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、既存契約企業様含む5月末までのお申し込み企業を対象に、ChatGPT活用プラットフォーム「ChatMee」の価格改定を実施し、業界最安値（※1）で提供開始することをお知らせいたします。

### ◆価格改定の背景

弊社が掲げる「データとアルゴリズムで、入稿を豊かにする」のパーパスを体現するには、より多くの方々に生成AIのビジネス活用に挑戦いただくことが重要と捉えています。

そのため、大手企業にも導入されているセキュアな環境が特徴の法人向けChatGPTプラットフォーム「ChatMee」をこれまでにない安価な価格で提供することで導入のハードルを下げ、ビジネス変革の一助を担うことができればと考えています。

### ◆「ChatMee」の新価格プラン

2024年6月25日から提供を開始する「ChatMee」の新価格プランは下記の通りです。  
（※2024年9月末までにお申し込みいただいた企業様が対象になります）

料金	最低利用人数	最低契約期間
1名あたり150円/月 (税込165円)	100名～	12ヶ月契約



# 愛知県尾張旭市の生成AI活用試行に 法人向けChatGPT「ChatMee」のデモを提供

4月24日配信のAVILENコーポレートサイト内ニュース (<https://avilen.jp/news/371064/>)



## 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。